Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書 保証書付

用途
● 一般の草刈り、雑草刈り

日立 コードレス刈払機 CG 14DSL CG 14DSAL

このたびは 日立コードレス刈払機を
お買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を
よくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、
いつでも見られる所に
大切に保管して
ご利用ください。

CG 14DSL

HITACHI

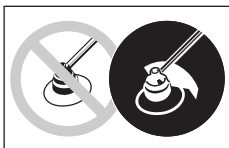
警告表示について

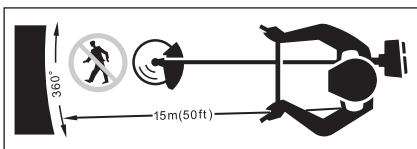
当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。

切削物の飛散方向に注意してください。

保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。

キックバックに注意してください。

飛散防護カバーを所定の位置に取付けてください。

運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。

刈払機の作業者から 15 m以内を危険区域とし、この中に作業者以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときも、この距離は守ってください。

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。
- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 ℃未満、または温度が 40 ℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。
- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。
- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
  けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。
  能力以上での使用は、事故の原因になります。

⚠注意

- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
  転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⚠注意

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

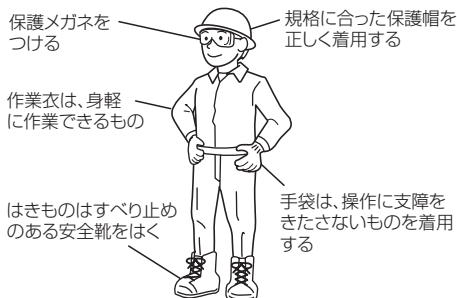
先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 指定された用途以外に使用しないでください。

- けがの原因になります。

② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりのよい長ズボンを着用してください。
- 耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

③ 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

④ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には工具を使用させたり、貸さないでください。

- 初めて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⑤ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑥ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

- 足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑦ 始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。

- 先端工具（刃具など）にヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑧ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて作業してください。

- 取りはずして作業すると、けがの原因になります。

⑨ ハンドルは必ず取付けて作業してください。また、がたつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。また、刈刃は右から左に掃くように作業してください。

- 作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

⚠警告

⑩ モーターを始動する場合は注意してください。

- 機体を平らな場所に置いてください。
- 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
- 先端工具（刃具など）が地面や草木などに触れていないことを確認してください。
  不用意な始動は、けがの原因になります。

⑪ ロックレバーを固定しないでください。

- 誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。

⑫ 機体から離れるときは、電源ボタンを押して、電源OFFにしてください。

⑬ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。

⑭ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。

- 刈刃の損傷や、けがの原因になります。

⑮ 回転速度をむやみに上げないでください。

- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
- 作業の負荷に応じてレバーを調整しながら使ってください。
  飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。

⑯ 回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。

- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。

⑰ 次の場合はモーターを停止し、電源を切り、先端工具（刃具など）の動きが止まるのを確認してください。

- 作業場所を移動する場合。
- 機体に巻き付いたごみや草を取除く場合。
- 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
- 機体を身体からはずす場合。
  先端工具（刃具など）が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。

**⑱ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。
また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上離れてください。**

- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
- 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

⑲ 刈刃部に草などが巻きついたときは、すぐにモーターを停止し、電源を切り、刈刃の回転が停止してから取除いてください。

- 刈刃が停止していない状態で取除こうとすると、けがの原因になります。
- 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります

⚠警告

⑳ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにモーターを停止し、電源を切り、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

㉑ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。

㉒ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。
- 事故の原因になります。

⚠注意

① 刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。

② 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
- 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。

③ 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、蓄電池をはずして、先端工具（刃具など）をはずすか、カバーをかぶせてください。
- 先端工具（刃具など）が身体に触れて、けがの原因になります。

④ 刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
- 不用意に扱うと、けがの原因になります。

⑤ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。
- 破損や亀裂が生じる恐れがあります。

⑥ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。
- 警告ラベルはお買い求めの販売店にお申しつけください。

⑦ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。

⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。

⑨ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。

⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。（NN仕様を除く）
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると（電池電圧 8 Vまで低下）モーターが停止します。
このときはすみやかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次頁に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ （＋）（－）を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⚠警告

⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠注意

① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

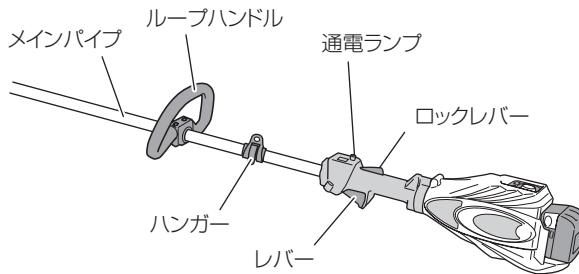
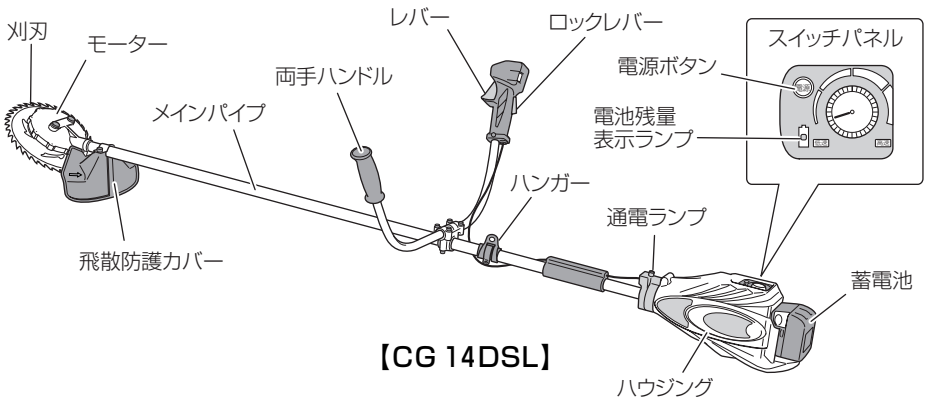
- 放置すると液により目に障害を与える原因になります。

② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

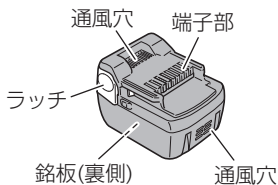
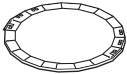
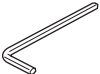
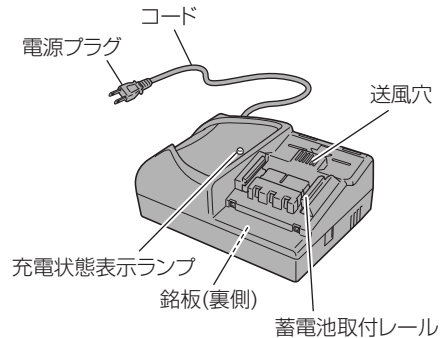
- 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

工具本体

【CG 14DSL】

【CG 14DSAL】

蓄電池

充電器

標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品名（形名） ＼ 製品形名（仕様）	CG 14 DSL（LSC） CG 14 DSAL（LSC）	CG 14 DSL（NN） CG 14 DSAL（NN）
蓄電池（BSL 1430 ）	1 個（本体装着）	－
充電器（UC 18YRSL）	1 個	－
チップソー （外形 230 mm）	1 枚	1 枚
刈刃カバー	1 式	1 式
六角棒スパナ （M 5 ねじ用）	1 個	1 個
ボックススパナ （ 19 mm× 13 mm）	1 個	1 個
保護メガネ	1 個	1 個
肩掛けバンド	1 個	1 個

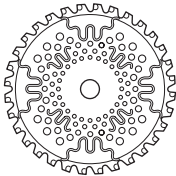
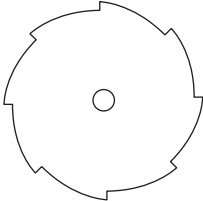
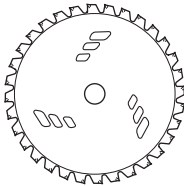
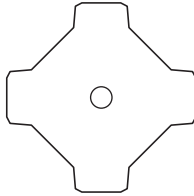
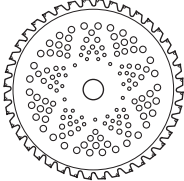
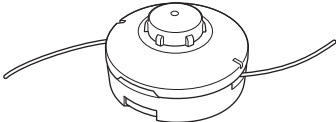
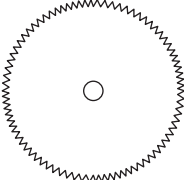
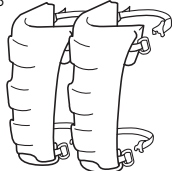
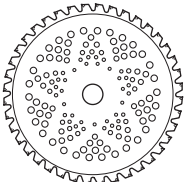
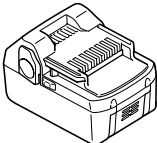
仕　様

1．工具本体仕様

形名	CG 14DSL	CG 14DSAL
操作ハンドル	両手ハンドル	ループハンドル
刈刃	チップソー（外形 230 ㎜×内径 25.4 ㎜×刃数 36）	
刈刃回転方向	上から見て反時計方向	
刈刃回転数	3500～5000 min^{-1}	
工具本体寸法 （全長×全幅×全高） [BSL 1430 装着時]	1880 ㎜× 720 ㎜× 440 ㎜	1880 ㎜× 240 ㎜× 215 ㎜
質量（刈刃、肩掛けバンド除く）	3.9 kg	3.7 kg
通電ランプ	赤色LED	
運転時間 [気温 20℃満充電時] ※	20～40 分（BSL 1430）、30～50 分（BSL 1830）	
モーター	ディスクモーター	
蓄電池	円筒密閉型リチウムイオン蓄電池	
電池電圧	14.4 V	
残量表示ランプ	赤色LED	

※ ● 草の種類や刃物の切れ味、刈刃回転数、周囲温度、蓄電池特性などにより異なることがあります。
● 本機は、18 V電池 BSL 1830 も使用できます。

2．充電器仕様

形名	UC 18YRSL
入力電源	単相交流　50／60Hz 共用　　電圧　100 V
充電時間	BSL 1430、BSL 1830 … 約 45 分／BSL 1415 … 約 22 分（気温 20℃時）
充電電圧	14.4 V　ー　18 V
充電電流	BSL 1430／BSL 1830／BSL 1415 ： 3.5 A
コード	2 心ビニールコード
質量	0.6 kg
使用温度範囲	0°C～40°C
冷却	対応（ファン付き）

3．蓄電池仕様

形名	BSL 1430
容量	3.0 Ah（3000 mAh）
冷却	対応

別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。
（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

スーパーチップソータイプ （レーザースリット＋軟質特殊樹脂仕様） 外径 230 ㎜× 32 枚 	**巴刃** 外径 230 ㎜× 8 枚
チップソー標準タイプ （窓有仕様） 外径 230 ㎜× 32 枚 	**角形 4 枚刃** 外径 230 ㎜× 4 枚
チップソー軽量タイプ （メッシュ仕様） 外径 230 ㎜× 36 枚 	**ナイロンコードカッタ　打撃タイプ** 外径 110 ㎜
丸のこ刃 外径 230 ㎜× 80 枚 	**すね当て（1 組 2 個入り）** 飛散物から足を守ります。
下刈用チップソー軽量タイプ （メッシュ仕様） 外径 230 ㎜× 60 枚 	**蓄電池**（18 V） BSL 1830

ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、初めてご使用になるとき、分解して保管していたとき、刈刃を交換するときは、次のように組み立ててください。

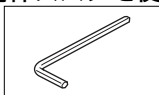
⚠ 警告

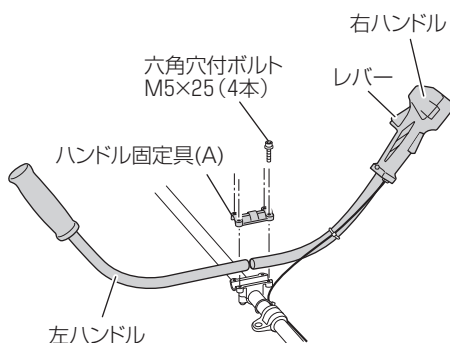
万一の事故を防止するため、必ず電源OFFし、蓄電池を本体から抜いてください。

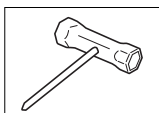
⚠ 注意

刈刃の取付け・取りはずしの際には、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

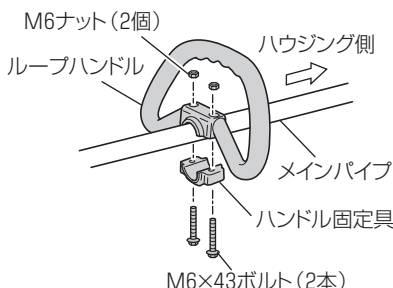
●両手ハンドルの取付け【CG 14DSLのみ】

注 **取付けには付属の六角棒スパナを使用します。**

① ハンドル固定具(A)に仮止めしてある六角穴付ボルトM 5 × 25(4本)をはずします。

② 右側にレバーが付いている右ハンドルを、左側に左ハンドルを取付け、ハンドル固定具(A)を六角穴付ボルトM 5 × 25(4本)で確実に固定します。

●ループハンドルの取付け【CG 14DSALのみ】

注 **• ループハンドルは使いやすい位置を決めて固定してください。**
• 取付けには付属のボックススパナを使用します。

① ループハンドルに仮止めしてあるM 6 × 43 ボルト(2本)をはずします。

② メインパイプ上側に、ループハンドルがハウジング側に傾くようセットします。

③ メインパイプ下側にハンドル固定具を当て、M 6 × 43 ボルト(2本)とM 6 ナット(2個)を使用し、確実に固定します。

●飛散防護カバーの取付け

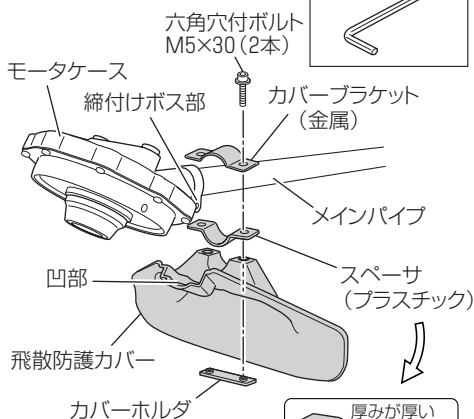
⚠警告

飛散防護カバーは必ず所定の位置に確実に取付けてください。
小石等が飛散した場合、けがの原因になります。

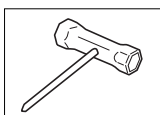
モータケースの締付けボス部と飛散防護カバーの凹部を合わせ、メインパイプの上側にカバーブラケットを当て、六角穴付ボルトM５×30（２本）をスペーサ、飛散防護カバーの穴までさし入れます。

スペーサは厚みの薄い方をモータケース側にして取付けてください。

飛散防護カバーの下側にカバーホルダを当て、付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトM５×30（２本）を交互に締付け、確実に固定します。

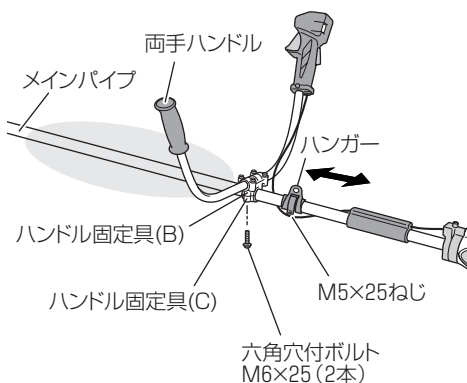
注 **取付けには付属の六角棒スパナを使用します。**

スペーサの取付け方向

●ハンガーの取付け位置について

注 **取付け位置変更には付属のボックススパナを使用します。**

ハンガーは取付け位置を変更できます。使いやすい位置を決めてご使用ください。「肩掛けバンドの取付けと使い方」はP 19を参照してください。

① ハンガーを固定しているM５×25ねじをゆるめます。

② ハンガーを前後に移動させ、使いやすい位置を決めてM５×25ねじを締付け確実に固定してください。

両手ハンドルをはずすことによって、ハンガーを両手ハンドルより前に移動することもできます。（右図参照）（CG 14 DSLのみ）

両手ハンドルのはずし方
六角穴付ボルトM6×25（2本）をはずし
ハンドル固定具(C)を取りはずす。

使い方

●刈刃の取付け

⚠警告

- 取付ける前に刈刃にひび割れ、変形などがないか、よく調べてから取付けてください。
- 刈刃を取付ける際は、必ず刈刃の中心穴を刃受金具の凸部に入れ、ナットカバーで刈刃を挟むようにし、刈刃が偏心しないように確実に締めてください。（P 18「正しい取付け」参照）
- 刈刃取付け後は忘れずに六角棒スパナ、ボックススパナをはずしてください。
- 左M 8 取付ナット、ナットカバーが摩耗している場合は必ず新品と交換してください。

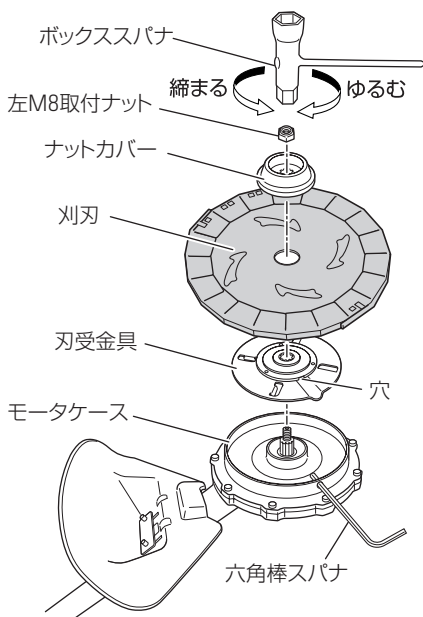
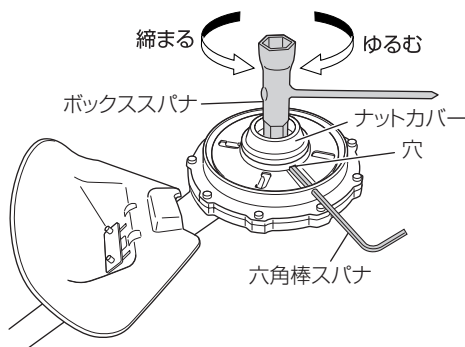
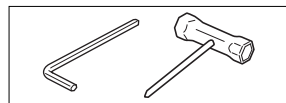
① 本機を図のようにさかさにします。

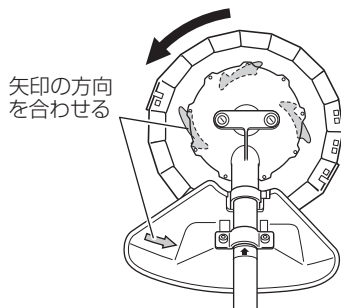
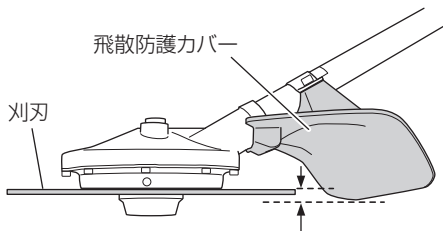
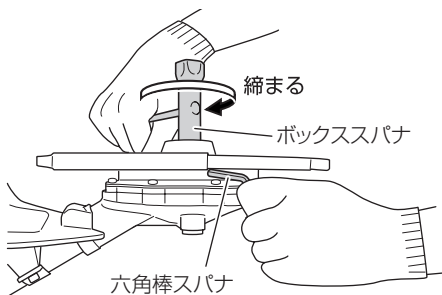
② 刃受金具の穴とモータケースの穴を合わせ、付属の六角棒スパナを確実に奥までさし込み、回り止めをします。

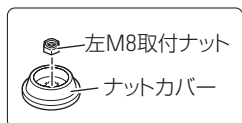
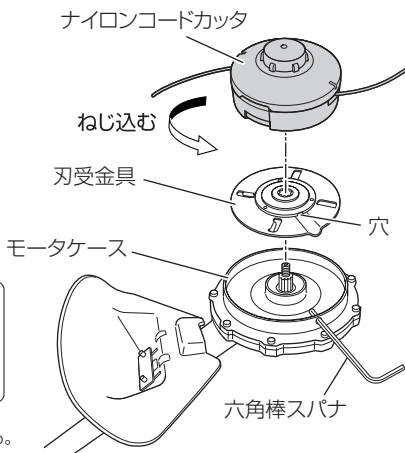
③ 付属のボックススパナで左M 8 取付ナットを右に回しゆるめ、左M 8 取付ナット、ナットカバーをはずしてください。

④ 刈刃の取付けは、刃受金具の穴とモータケースの穴に六角棒スパナをさし込み、刃受金具に刈刃（刃の向きを確認して）、ナットカバーの順序で取付けます。

注
- **刃受金具の穴とモータケースの穴が合わない状態で六角棒スパナを無理にさし込まないでください。**
  刃受金具が変形し、回り止め故障の原因となります。
- **確実に回り止めしてから左M 8 取付ナットの締付け作業、ゆるめ作業をしてください。**
  刃受金具が変形し、回り止め故障の原因となります。

注
- **モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、故障の原因になります。**
- **刈刃、ナイロンコードカッタは本書のP 14「別売部品の紹介」に指定の純正品のみを使用してください。**
- **取付けには付属の六角棒スパナ、ボックススパナを使用します。**

⑤ 左M 8 取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして確実に締付けてください。

⑥ 刈刃が正しく取付けられていることを確認してください。また、刈刃が飛散防護カバーの内側になっていることを確認してください。内側になっていない場合は、再度飛散防護カバーを取付け直してください。

正しい取付け	間違った取付け（例）

注 **別売部品のナイロンコードカッタ使用時は、左M 8 取付ナット、ナットカバーを取りはずし、モータケースのねじ部に直接ねじ込んでください。使用しない左M 8 取付ナット、ナットカバーは紛失しないように保管してください。**

●肩掛けバンドの取付けと使い方

⚠警告

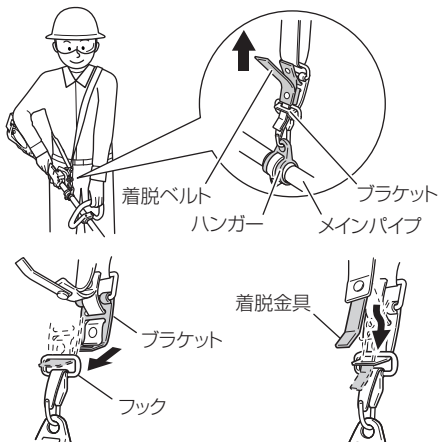
- **肩掛けバンドは必ず着用し、本機を正しく保持してください。**
- **危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの着脱装置をはずし、刈払機を身体から離してください。**

⚠注意

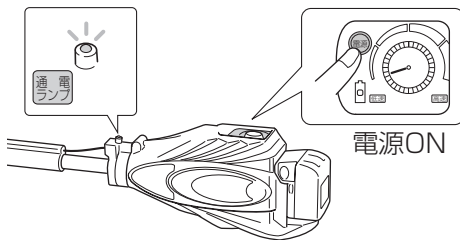
- **他方の手で本機のメインパイプを持ちながら引いてください。**
  本機を支えないで着脱ベルトを引くと本機が足の上に落ち危険です。
- **作業前に着脱機能に異常のないことを確かめてください。**

① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、本機のハンガーに引っ掛けます。
肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。

② 肩掛けバンドから本機をはずすときは、片手で本機のメインパイプを持ちながら、着脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。

③ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、着脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。
軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。

通電ランプについて

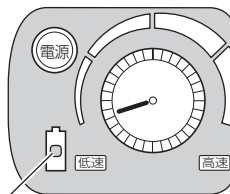
本機は通電ランプによりさまざまなお知らせをします。
ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ表示	本機の状態
消灯	電源OFF
赤点灯	電源ON
赤点滅	機体の温度保護回路作動中
	機体の過負荷保護回路作動中にレバーが引かれている
赤の速い点滅	本体異常

電池残量表示について

⚠ 注意

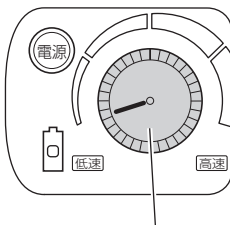
スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。

電池残量が少なくなるとランプが点滅します。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

電池残量表示ランプ

変速ダイヤルについて

ハウジング部には回転数を 3500 ～ 5000 回転に変速する変速ダイヤルが付いています。変速ダイヤルを時計回りに回すと高速、反時計回りに回すと低速になります。

低速回転域では、軽負荷でご使用ください。

変速ダイヤル

充電する

ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、
残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

電源を確認する

この充電器は交流 100 V用です。
200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

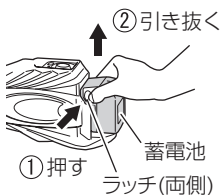
2 コンセントを確認する

コンセントががたついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P22「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

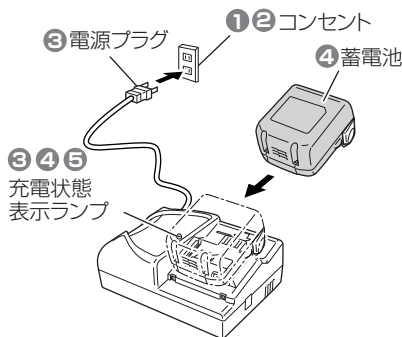
取りはずすとき

- 蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。

- 充電を開始すると、充電状態表示ランプが赤に連続点灯します。

⚠警告

手順 ❶ 、❷ については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

充電時間：約45分

注 **充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。**

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついてます。ランプの表示内容は以下のようになっています。

充電状態	ランプの表示		表示内容
充電前	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	電源にさし込んだ状態
充電中	赤点灯	連　続　点　灯	
充電完了	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	
高温待機	緑点灯	連　続　点　灯	蓄電池の温度が高くて充電できない。（温度が下がると自動的に充電を開始します。）
充電不可	赤の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯	充電器または蓄電池に異常あり

注

- **赤の速い点滅(0.1秒点灯／0.1秒消灯)を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。**
  異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。**
  同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- **工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。**
  すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- **工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。**
  無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。**
  寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

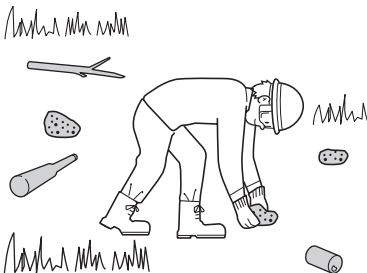
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

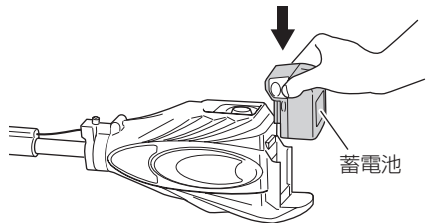
草を刈る

⚠警告

- 刈刃カバーを取付けたまま、レバーを引かないでください。
- 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。
- 雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。
  あまり急でない急傾斜地で使用する場合は等高線方向に刈り進んでください。
- 肩掛けバンドに機体を下げ、両手ハンドル（CG 14DSL）は左右のハンドルを、ループハンドル（CG 14DSAL）は右手でハンドル、左手でループハンドルをしっかり持ち作業してください。
- 刈刃が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中刈刃をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 刈刃の跳ね返り（キックバック）に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢いよく跳ね返されますので注意してください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上離れてください。

1 作業場所を整備する

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛ばされることがあります。
- 取除く事のできない物は、あらかじめ目印を付けて下さい。

2 蓄電池を取付ける

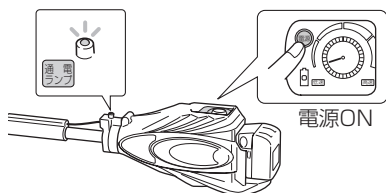
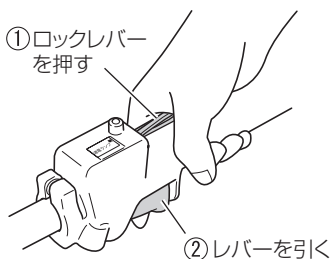
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

オートパワーOFFについて

電源ONで、レバーが引かれない状態が 1 分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。電源を入れるためには、再度電源ボタンを押してください。

⚠警告

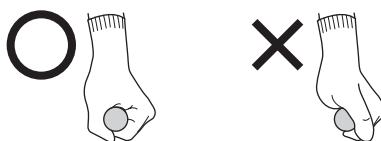
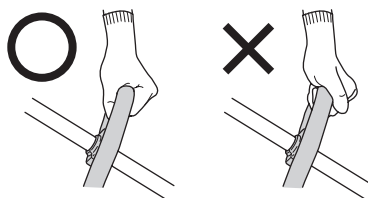
電源ONにしたまま本機を放置しないでください。
事故の恐れがあります。

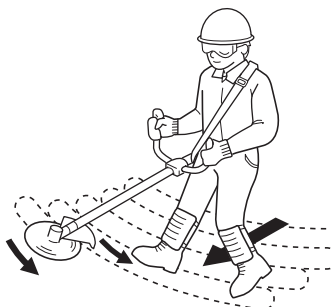
3 電源を入れる

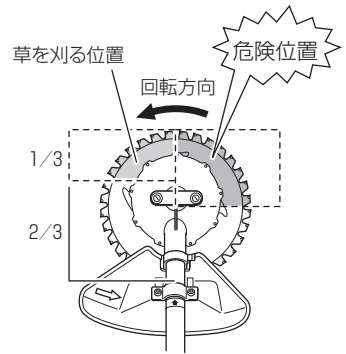
- ハウジング部の電源ボタンを押すと、電源ONとなり、ハンドル部の通電ランプが赤く点灯します。
- 再度電源ボタンを押すと、電源OFFとなり、ハンドル部の通電ランプが消灯します。

4 草を刈る

- 肩掛けバンドを右手と頭に通して左肩にかけます。（P19「肩掛けバンドの取付けと使い方」参照）
- 両手ハンドル（CG 14DSL）は、ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。
  ループハンドル（CG 14DSAL）は、右手でハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引くと刈刃が回転します。左手でループハンドルの親指を掛け、他の指とともにループハンドルを囲むように握ってください。
- 体重の移動が容易で、安全な体勢をつくってください。
- 刈払い作業をしないときはレバーをはなし、必ず回転を停止してください。

【CG14DSL】

【CG14DSAL】

【両手ハンドルの握り方】

【ループハンドルの握り方】

刈払いのコツ

- 回転が低すぎると力がなく、草もからみやすくなります。回転が高すぎると刈刃磨耗が速くなる、振動・騒音が大きくなる、電池消費が多くなるなどの原因になります。
- 回転速度をむやみに上げると、電池の消耗を早めます。
- パイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。
- 右図に示す刈刃直径の1／3の部分で刈ると、切れ味がよく、また草の巻き込みも少なく能率的です。

刈払い作業上のご注意

●連続作業について

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

刈払い作業を連続で行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、回転が下がります。温度保護回路作動中は通電ランプが点滅します。（P19「通電ランプについて」参照）

その際は本機を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に本体を15分程度休ませてからご使用ください。

●過負荷保護について

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、過負荷保護回路が搭載されています。刈払い作業中に過負荷（刈刃のロック等）が続く場合、過負荷保護回路が作動しモーターが停止します。その際はいったん電源をOFFし、過負荷の原因を取除いてください。

モーター停止後もレバーが引かれていると通電ランプが点滅します。（P19「通電ランプについて」参照）通電ランプの点滅が5秒間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。その際は過負荷の原因を取除いてから、もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。

保守・点検・整備

⚠警告

点検・手入れの際は、必ず電源OFFし、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

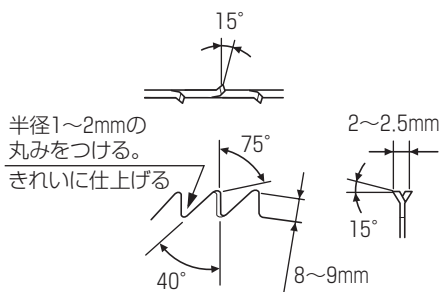
●刈刃の点検

刈刃に刃先の欠け、ヒビ割れ、傷、曲がり、偏心などがないか必ず点検してください。異常がある場合は、新品と交換してください。なお、点検の際は、必ず手袋などで手を保護し十分注意してください。

●刈刃のとぎ方

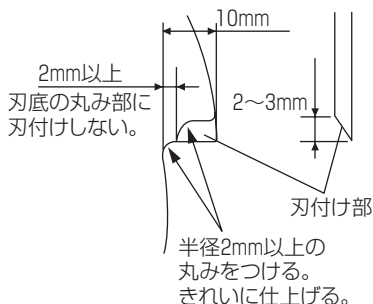
切れ味が悪くなった刈刃をそのまま使用すると能率が悪くなります。
目立てヤスリなどで、早めにといでください。

(1) 丸のこ刃のとぎ方

刃の谷に割れが起こらないように、必ず半径 1 ～ 2 ㎜の丸みをつけてください。
アサリ幅は 2 ～ 2.5 ㎜が適当です。

(2) 8 枚刃のとぎ方

⚠警告

- **刃底の部分には必ず 2 ㎜以上の丸みをつけてください。**
- **刃付けは刃底の丸み部に付けないで、刃底から 2 ㎜以上離れた位置から付けてください。**
- **8 枚の刃を平均にとぎ、バランスに注意してください。**

8 枚刃をとぐ場合は右図のようにとぎます。
8 枚刃のケースに記載してある「刃型ゲージ」を利用しますと、刃とぎが容易にできます。

使い方

その他

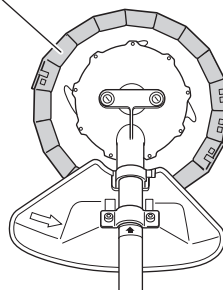
●取付ねじの点検

ご使用前に点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

保管方法

損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。
刈払機を移動、保管する場合は安全のため、必ず蓄電池を取りはずして、付属の刈刃カバーを取付けてください。
作業後は、温度が 50 ℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。
長期間（6 ヵ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

注
- **お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
- **軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。**
- **温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。**

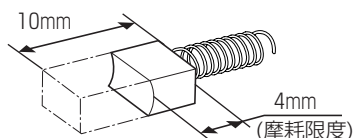
⚠警告

蓄電池を収納ケースに保管する場合は、導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがあります。

その他

●カーボンブラシの点検

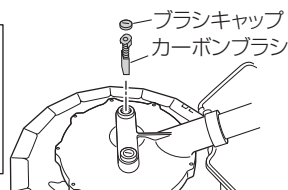
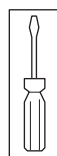
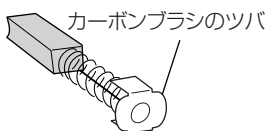
モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(4㎜ぐらい)になりましたら新品と交換してください。
また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

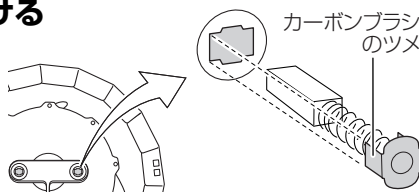
注 **新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ(コードNo. 999015)を使用してください。**

●カーボンブラシの交換方法

1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。

2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取り出します。

3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシを指で押し込みます。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締め付けます。

故障診断

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機電動工具センターにお問い合せください。

	症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
充電器	**充電ランプが点灯しない**	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P21
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P21
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P22
	充電開始後、4時間くらい経過しても充電ランプが消えない	蓄電池または充電器の異常と考えられる	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお問い合せください。	P22
本体	**動かない**	蓄電池の残量がない	蓄電池を充電してください。	P20 P21
		蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取除いてください。また、蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。また、蓄電池は「カチッ！」と音がするまで確実にさし込んでください。	—
		電源が入っていない	ハウジング部の電源ボタンを押し、電源を入れてください。また、本機にはオートパワーOFF機能が搭載されており、電源ONでレバーが引かれない状態が１分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。電源を入れるためには、再度電源ボタンを押してください 電源ボタンを２回押すと電源OFF状態に戻ります。	P23

	症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体	動かない	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。 ハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。	P24
		大量の草を刈込んで、飛散防護カバーと刈刃に巻き付き、過負荷状態になっている	蓄電池および機体を保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったん電源ＯＦＦし、過負荷の原因を取除いてください。もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。	P9 P25
	動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。	P20 P21
		蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具の本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。	P9
	変速しない	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。	P20 P21
	振動が大きい	刈刃が正しく取付けられていない	刈刃を再度取付け直す。	P17
		刈刃にひび、割れ、曲がりがある	刈刃を交換する。	P17
		ハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P15
		飛散防護カバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P16
	刈刃の切れ味が悪い	刃先が痛んでいる	刈刃を研ぎ出す。または交換する。	P17 P26
		回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に刈刃を取付け直す。	P17

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店	TEL（011）896－1740（代）	〒004－0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店	TEL（022）288－8676（代）	〒984－0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店	TEL（03）5812－6331（代）	〒110－0016 台東区台東4丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
中部支店	TEL（052）262－3811（代）	〒460－0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号（コスモ栄ビル）
北陸支店	TEL（076）263－4311（代）	〒920－0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店	TEL（0798）37－2665（代）	〒663－8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店	TEL（082）504－8282（代）	〒730－0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店	TEL（087）863－6761（代）	〒760－0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店	TEL（092）621－5772（代）	〒813－0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120－208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00～午後5：00）
電動工具ホームページ――http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立コードレス刈払機保証書

形　名	CG 14DSL　CG 14DSAL	保証期間	本体：1年（付属品は除く）

※お買い上げ日	平成　年　月　日	製造番号	
※お客様 お名前			
※お客様 ご住所	〒		
※販売店 住所 / 店名	〒 電話（　）		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
（ニ）保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
（ホ）本書の提示がない場合。
（ヘ）本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
（ト）一般使用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（チ）付属品、別売部品や消耗品類の場合。
2．本製品の故障などに伴なう二次的損害に対する保証はいたしません。
3．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
4．ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保障書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機電動工具センターにお問い合わせください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is only Japan)

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1（品川インターシティＡ棟）
電話（03）5783-0626（代）

001
部品コード　C99190102 0